

No.202

2024年
5月号

いなざわ 議会だより

TOPICS

- 議会報告会を開催します 2
- 令和6年度予算 4
- 3月定例会議決結果 6
- 質疑・一般質問 7
- 政務活動費収支報告 16

稲沢市議会

検索



表紙：平和桜ネックレス

5年ぶり 議会報告会

を開催します。

日時・会場 (内容は同一)

2024年5月25日(土)

予約不要
入場無料

午前の部 10:00～11:30

祖父江生涯学習センター「ソブエル」

稲沢市祖父江町上牧下川田454

午後の部 14:00～15:30

稲沢市勤労福祉会館

稲沢市朝府町5-1

内容

第1部 報告会

- 令和6年度予算の報告
- 行政視察の報告等

第2部 意見交換会

- 総務委員会:シティプロモーションの方法について
～稲沢市の魅力向上と地域経済の活性化のためには～
- 文教厚生委員会:フレイル予防について
～高齢者が元気で健康な生活を送るには～
- 経済建設委員会:災害対策について

議会は何をしているのか知っていただき、
市民の皆さまと時間を過ごすことで
議会を身近に感じていただきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症等の影響により4年間中止しておりましたが、
議員一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

お問い合わせ

稲沢市議会事務局

TEL:0587-32-1459 FAX:0587-32-1124

新型コロナウイルス感染症等の影響により4年間中止しておりましたが、このたび5年ぶりに議会報告会を開催します。

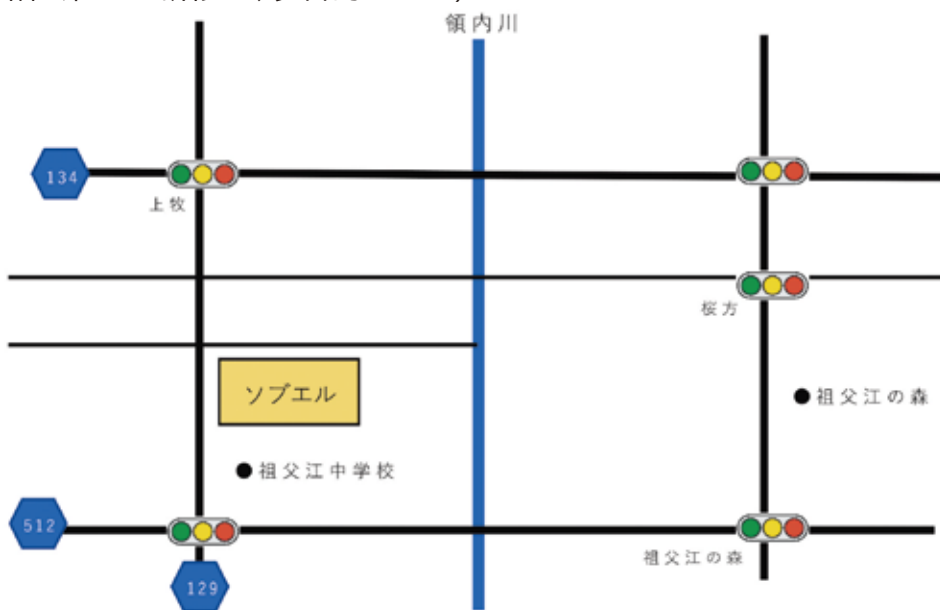
全議員が分担し、前ページのチラシを5月15日の17時から18時ごろまで、アピタ稲沢店様、リーフウォーク稲沢様、MEGAドン・キホーテUNY稲沢東店様、平和堂祖父江店様、ホームセンターバローメガストア稲沢平和店様などで配布する予定です。

今回は1日2会場で開催し、午前の部、午後の部として実施します。(内容は同じです)

より多くの方にお越しいただける体制を整えましたので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。駐車台数には限りがありますので、なるべく乗り合わせのうえ、ご来場ください。

午前の部：祖父江生涯学習センター「ソブエル」祖父江町上牧下川田454

(2階：第2・3研修室、多目的ホール)



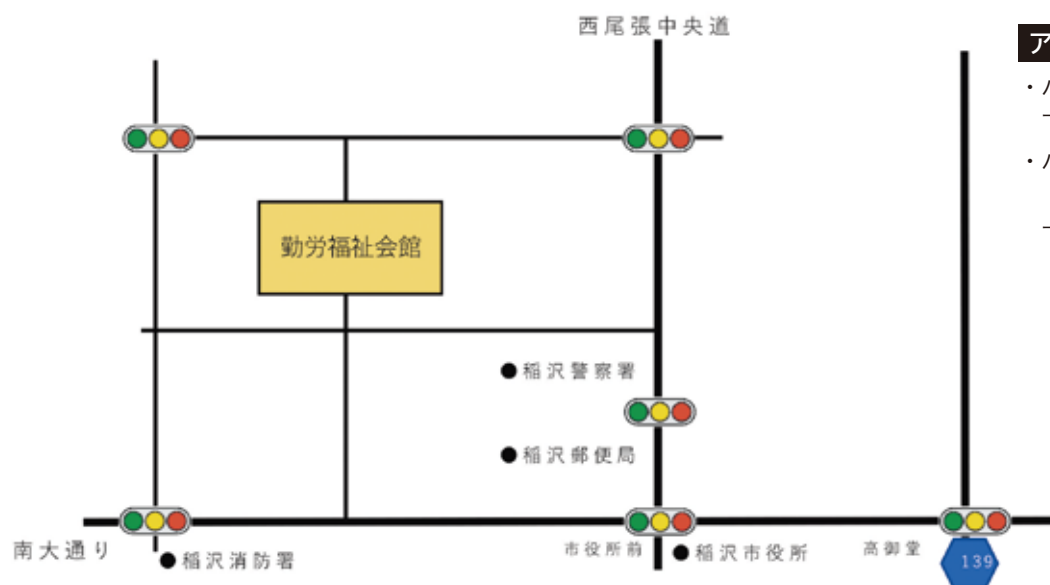
アクセス

- ・バス停「祖父江生涯学習センター」
下車徒歩1分



午後の部：稲沢市勤労福祉会館 朝府町5-1

(2階：第2・3研修室、3階：第1～4会議室)



アクセス

- ・バス停「朝府」
下車徒歩2分
- ・バス停
「ヨシヅヤ新稲沢店」
下車徒歩1分



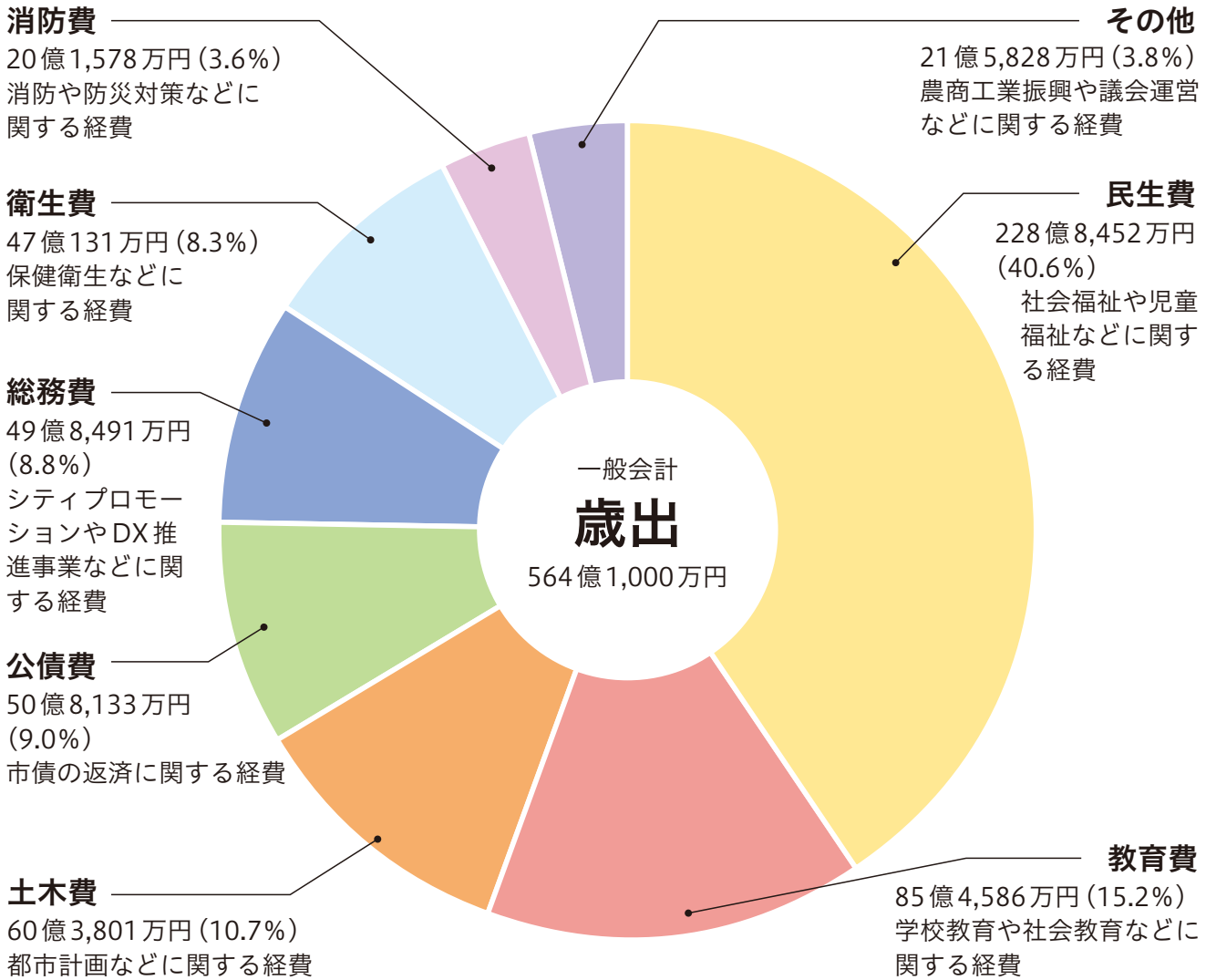
今定例会では、令和6年度の予算案を含む議案計42件が市長から提出され、審議の結果、全会一致及び賛成多数で全議案を可決しました。ここでは予算の概要を紹介します。各議案の審議結果及び賛否表については6ページ及び7ページに掲載しております。

令和6年度予算のあらまし

前年度比

| | | |
|-----------|---------------|--------|
| 一般会計 | 564億1,000万円 | 14.8%↑ |
| 特別会計・企業会計 | 467億4,963万円 | 2.4%↑ |
| 令和6年度予算総額 | 1,031億5,963万円 | 8.8%↑ |

議案第29号 令和6年度稲沢市一般会計予算



| | |
|-----------|-------------|
| ①市税 | 212億3,200万円 |
| ②国庫支出金 | 73億6,401万円 |
| ③繰入金 | 53億1,864万円 |
| ④市債 | 46億2,870万円 |
| ⑤地方交付税 | 43億円 |
| ⑥県支出金 | 40億5,894万円 |
| ⑦地方消費税交付金 | 31億円 |
| ⑧諸収入 | 22億5,445万円 |
| ⑨その他 | 41億5,326万円 |

※万円未満切り捨て

令和6年度主な新規事業

※万円未満切り捨て

インクルーシブ保育推進事業 (保育課)

支援が必要な児童を公私問わず市内の保育園等全園で受け入れ、支援の必要度に合わせ保育士、保育支援者を加配し、インクルーシブ保育の実現を目指します。
また、私立保育園等に対しては配置した保育士等の人件費を補助します。

1億6,518万円

保育園等給食費支援事業 (保育課)

食材料費の高騰のため、給食費を値上げし給食の質を維持するとともに、値上げ後の給食費の3分の1を支援します。

4,395万円

稲沢カレーフェスティバル (商工観光課)

観光誘客による交流人口や消費の拡大を図り、地域活性化につなげるため、第2回フェスティバルを開催します。

○開催日：令和6年11月3日(日)
○開催場所：市役所駐車場 ○参加店舗：20店舗程度



昨年の様子

900万円

ごみボックス設置費補助 (資源対策課)

300万円

奨学金返還支援補助 (商工観光課)

200万円

SPI検査導入事業 (人事課)

96万円

産婦配食サービス事業 (健康推進課)

84万円

河川等水位監視システム 整備事業(防災安全課)

大雨による浸水、道路冠水など水害への早急な対応を行うことを目的として市内の準用河川等の6か所に水位計等を整備し、対象河川等をリアルタイムで監視するシステムを構築します。
また、避難行動の指標となるよう水位情報等を市HPで公開します。

5,500万円

稲沢公園再整備事業(設計) (まちづくり振興基金充当事業)(都市整備課)

市制70周年に向け、より魅力的で賑わいのある公園にリニューアルするための設計を実施します。

○令和6年度：基本設計
○令和7年度：実施設計
○令和8年度～10年度：リニューアル工事

1,700万円

病児・病後児保育施設整備事業 (設計)(子育て支援課)

稲沢市民病院の敷地内に病児・病後児保育施設を整備するための設計業務を行います。

○令和6年度 基本設計・実施設計
○令和7年度 整備工事

574万円

シティプロモーション事業 (シティプロモーション課)

「ヤバいなざわ」のキャッチコピーなどを活用し、市のヤバく良いところを紹介する動画の作成などにより、知名度向上、定住・移住を促進するため、将来の子育て世帯をターゲットとし、市の魅力を発信します。



183万円

3 月 定 例 会 議 決 結 果

| 議案番号 | 件 名 | 議決結果 | 議案番号 | 件 名 | 議決結果 |
|--------|---|------------|--------|---|------------|
| 議案第2号 | 稲沢市子ども未来基金条例の制定について | 全会一致 可決 | 議案第24号 | 稲沢市公共下水道事業の設置等に関する条例及び稲沢市集落排水事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 |
| 議案第3号 | 稲沢市報酬額及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第25号 | 稲沢市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 |
| 議案第4号 | 稲沢市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について | 賛成多数 可決 | 議案第26号 | 稲沢市消防団条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 |
| 議案第5号 | 稲沢市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について | 賛成多数 可決 | 議案第27号 | 昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例の廃止について | 全会一致 可決 |
| 議案第6号 | 稲沢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第28号 | 稲沢市道路線の認定について | 全会一致 可決 |
| 議案第7号 | 稲沢市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第29号 | 令和6年度稲沢市一般会計予算 | 賛成多数 可決 |
| 議案第8号 | 稲沢市パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第30号 | 令和6年度稲沢市国民健康保険特別会計予算 | 賛成多数 可決 |
| 議案第9号 | 稲沢市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第31号 | 令和6年度稲沢市介護保険特別会計予算 | 賛成多数 可決 |
| 議案第10号 | 稲沢市手数料徴収条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第32号 | 令和6年度稲沢市後期高齢者医療特別会計予算 | 賛成多数 可決 |
| 議案第11号 | 稲沢市介護保険条例の一部を改正する条例について | 賛成多数 可決 | 議案第33号 | 令和6年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計予算 | 全会一致 可決 |
| 議案第12号 | 稲沢市立児童厚生施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第34号 | 令和6年度稲沢市病院事業会計予算 | 全会一致 可決 |
| 議案第13号 | 稲沢市遺児手当支給条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第35号 | 令和6年度稲沢市水道事業会計予算 | 賛成多数 可決 |
| 議案第14号 | 稲沢市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第36号 | 令和6年度稲沢市公共下水道事業会計予算 | 全会一致 可決 |
| 議案第15号 | 稲沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第37号 | 令和6年度稲沢市集落排水事業会計予算 | 全会一致 可決 |
| 議案第16号 | 稲沢市企業立地促進条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第38号 | 令和5年度稲沢市一般会計補正予算（第9号） | 全会一致 可決 |
| 議案第17号 | 稲沢市都市公園条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第39号 | 令和5年度稲沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） | 全会一致 可決 |
| 議案第18号 | 稲沢市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第40号 | 令和5年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号） | 全会一致 可決 |
| 議案第19号 | 稲沢市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 議案第41号 | 令和5年度稲沢市公共下水道事業会計補正予算（第3号） | 全会一致 可決 |
| 議案第20号 | 稲沢市空家等の適切な管理に関する条例及び稲沢市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 報告第1号 | 専決処分の報告について | — |
| 議案第21号 | 稲沢市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 報告第2号 | 稲沢市国民保護計画の変更の報告について | — |
| 議案第22号 | 稲沢市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 同意案第1号 | 人権擁護委員の推薦について | 全会一致 同意 |
| 議案第23号 | 稲沢市水道事業給水条例の一部を改正する条例について | 全会一致 可決 | 同意案第2号 | 公平委員会委員の選任について | 全会一致 同意 |

※賛否が分かれた議案等については、次ページに各議員の賛否表を掲載しています。

賛否が分かれた議案等

| 議案番号 | 創生会 | | | | | | | | | | | 市民クラブ | | | | | 公明党 稲沢 市議団 | 日本共産党 稲沢 市議団 | 会派に 属さない 議員 | | | | | | | | |
|--------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------------------|--------------------|-------------------|-------|------|------|-------|------|------|------|---|
| | 大野紀之 | 鵜野大助 | 土岐優子 | 平床健一 | 平野賀洋子 | 杉山太希 | 北村太郎 | 黒田哲生 | 近藤治夫 | 津田敏樹 | 服部礼美香 | 吉川隆之 | 木村喜信 | 六鹿順二 | 鈴木純子 | 岡野次男 | 志智央 | 木全信明 | 星野俊次 | 日比野貴子 | 朽本敏子 | 服部俊夫 | 曾我部博隆 | 小柳彩子 | 平野泰弘 | 山田崇夫 | |
| 議案第4号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第5号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議案第11号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議案第29号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議案第30号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議案第31号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議案第32号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議案第35号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |

※六鹿順二議員は議長のため採決に加わりません

(○は賛成、●は反対)

Q…… 議員の質問
A…… 市の答弁

質疑・一般質問 Q & A

市政を問う 一般質問

一般質問とは、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただしたり、あるいは報告や説明を求めたりするもので、毎年3月・6月・9月・12月に開催される定例会に限り行われます。

今定例会では、14人の議員が質疑・一般質問を行いました。ここではその質問と答弁の概要をお伝えします。

なお、各ページに掲載している二次元コードから、各議員の質疑・一般質問の録画映像をご覧ください。

14議員が登壇

- ・鈴木純子 議員
- ・山田崇夫 議員
- ・服部俊夫 議員
- ・土岐優子 議員
- ・朽本敏子 議員
- ・平野賀洋子 議員
- ・曾我部博隆 議員
- ・平野泰弘 議員
- ・日比野貴子 議員
- ・小柳彩子 議員
- ・服部礼美香 議員
- ・岡野次男 議員
- ・杉山太希 議員
- ・星野俊次 議員

※発言順



小学校で使用する 物品の個人購入に ついて

市民クラブ
すずき じゅんこ
鈴木 純子 議員



Q さんすうセットの実際の使用頻度は。

A 小学校1年生は、多くの学習内容で頻繁に活用されている。小学校2年生、3年生と学年が上がるにつれて使用頻度が低くなっていく。

Q さんすうセットの中身をなくした子のために、単品注文をすべての学校で対応できないか。

A 個別に注文することは、稲沢市内のどの小学校においても可能であると考えます。

Q 不要になったさんすうセットの寄付を募り、学校の備品化することで、リユースでき、ゴミ

になることなく、SDGsに貢献できると考える。単品で購入することが可能ということは、学校の備品となった後も、学校ごとに購入できると思うが、不要になった家庭から寄付を募り、さんすうセットを学校の備品化する取り組みは可能か。

A さんすうセットの共有化は、リユースすることにつながり、保護者の経済的な負担軽減や名前記入などの準備の削減にもつながると考える。子どもたちが学習内容をより確実に理解するために使用しているので、授業での活用方法や学校での保管方法等について、学校現場とも意見を共有し、今後の対応について検討していきたいと考えている。



スポーツの体験格差 の是正について

ひらの やすひろ
平野 泰弘 議員



Q 自己肯定感や社会性などを育む上で、スポーツの教育的意義は大きいものがある。小学校段階や中学校段階において、スポーツの体験格差を是正するために、教育機関が取り組むことは。

A 小・中学校の体育の授業では、様々な運動、種目が学習内容として盛り込まれており、義務教育期間中に数多くのスポーツを体験することができるようになっている。

体育の授業等で興味を持った種目については、中学校の部活動や地域でのスポーツ体験により、さらにその種目の楽しさや技術の向

上による喜びを味わい、自己肯定感や社会性などの育成にもつながるものと考えている。教育委員会としては、今後、部活動の地域移行を進めていく中で、保護者負担が必要となった場合には、家庭の経済状況によって活動への参加ができなくなるといった状況が生じないように、保護者負担を軽減するための助成のあり方についても考えていく。





災害時の避難所 について

やまだ たかお
山田 崇夫 議員



Q 避難行動要支援者の方は、どのような順序で二次的避難所に避難できるか。

A まずは、指定避難所に避難していただく。二次的避難所である福祉避難所は、避難生活が長期化した場合など必要に応じ開設する。移動が必要な方は、ご自身での移動か家族などに移送していただくことになるが、特別に配慮する必要がある場合は、福祉避難所運営者に協力を求め対処する。

Q 本市の指定避難所における性被害防止対策はどのようになっているか。

A 性被害防止対策については、女性が避難所の運営に参画することが重要と考える。また、避難者のプライバシー確保、トイレ・更衣室といったプライベート空間を男女別に設けることなどが必要である。避難者のプライバシー確保対策として、2024年度からワンタッチパーティションの備蓄数を増やし、避難所でのプライバシー確保に努める。トイレ・更衣室といったプライベート空間を男女別に設けることについては、男女別に必要な数のトイレ及びトイレ用テントの備蓄を計画的に進めており、更衣室や授乳スペースとして使用できるプライベートルームや屋外用ドームテントも備蓄している。



稲沢市民病院に ついて

公明党稲沢市議団
ひびの たかこ
日比野 貴子 議員



Q 病児・病後児保育の今後の見通し、計画は。

A 病児・病後児保育施設の建設に向けて準備を進めている。建設場所は、利用者の安心感や緊急時の対応等を考慮して、稲沢市民病院の敷地内とする。施設の規模は、保育室2部屋、観察室のほか、トイレ、手洗い場、事務室などの設備を備えた、延床面積120平方メートル程度の1階建ての建物で、利用人数は1日6人を予定している。令和6年度に設計業務、7年度に整備工事を行い、8年度に開所する計画である。

Q 小児科医をはじめ、医師増員に向けた取り組みは。

A 当院の小児科は、常勤医師とフルタイム会計年度の医師の2人体制のため、夜間や休日に対応するには医師が不足している。そのため、小児科医の増員に向け、大学医局への継続した働きかけを行っている。また、令和5年度から、当院での勤務を条件に、医師が借り受けた奨学金の返還を支援することにより、経済的な負担を軽減し、長期にわたって勤務できる環境を整える奨学金返還支援制度を開始した。1人でも多くの医師を確保し、小児科をはじめとする各診療科を充実させ安心安全な医療を提供していきたい。





介護保険制度について

日本共産党稲沢市議団
はっとり としお
服部 俊夫 議員



Q 介護保険料について、令和6年度から大幅に値上げされることとなっている。説明を求める。

A 介護給付費準備基金の全額取崩しや所得段階区分を多段階化し、高所得の方に応分の負担をしていただくことにより、低所得の方の保険料の上昇を抑えるよう努めたが、第4段階以上の方には第8期保険料よりも負担増をお願いすることとなった。

Q 介護従事者の人材確保・育成のための研修などの補助制度は考えているか。

A 生活援助従事者研修、介護職員初任者研修、

介護支援専門員実務者研修の3つの研修を対象とし、市内の介護サービス事業者が従事者の研修受講料を負担した場合、1人あたり10万円を上限としてその費用を事業者に補助する制度を令和6年度から開始する予定である。

Q 政府は「利用料の2割負担」「要介護1・2の在宅サービスの保険給付外し」「ケアプラン作成の有料化」など介護保険制度の改悪をすすめているが、稲沢市として意見を述べていくべきではないか。

A 令和6年度からの第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画に基づき、「高齢者と共に生きる地域環境づくり」に必要な施策を推進していく。また、市長会などを通じて、国の負担割合の引上げや低所得者対策など、国に引き続き求めていきたい。



ワクチンにおける健康被害状況と稲沢市の健康被害対応について

こやなぎ さやこ
小柳 彩子 議員



Q 新型コロナワクチン及び子宮頸がんワクチンにおける全国の医療機関副反応疑い被害報告は何件報告されているか。

A 新型コロナワクチンにおける、医療機関からの予防接種後副反応疑い報告件数は、全国では、令和5年10月29日時点で37,695件、うち、重篤事例が9,212件、このうち死亡事例は1,706件。子宮頸がんワクチンにおける医療機関からの予防接種後副反応疑い報告は、ワクチンの販売が開始されてからの累計で、令和6年1月26日時点、全国で2,410件、うち、重篤事例は802件、このうち死亡事例

は3件である。

Q 予防接種健康被害救済制度の周知も不十分であると同時に、ワクチン健康被害で病院に行っても、取り合ってもらえない場合があると聞いている。本市で健康被害の相談窓口を設けることは可能か。

A 愛知県では、令和6年度に新型コロナワクチン副反応相談窓口を設ける予定としている。本市では、予防接種の被害に限らず、健康相談、医師健康相談など相談事業を行っているため、その中で対応していく。

予防接種健康被害救済制度認定者数の比較

| | 45年度発売されたこれまでのすべてのワクチン ※新型コロナウイルスを除く (昭和52年2月～) | 新型コロナワクチン (令和3年2月～) | |
|-----------------|---|------------------------|-----|
| | 全国 | 全国 | 稲沢市 |
| 認定件数 | 3,642件 | 6,471件 | 10件 |
| うち死亡一時金 認定件数 | 158件 | 493件 | 1件 |

審査未了は 2,662件 申請件数は毎月300～400件程度増えている



稲沢市のゴミ出し 支援について

創生会
とき ゆうこ
土岐 優子 議員



Q ゴミ出しが困難な高齢者、障がい者の方への支援事業である「ふれあい収集」のこれからについて、1年以内に検討しようとしていることは何か。

A 現在、本事業における収集業務については、日常の家庭ごみ収集業務後に行っている。今後も利用者数が増加する場合、ごみ収集業務を行っている市職員のみによる対応が困難になることが予想されるため、全体的な収集体制の見直しをする必要があると考える。

Q 自身でゴミ出しすることが困難な方のゴミ出

しについて、資源対策課と高齢介護課がそれぞれに支援しているとのこと。

今後、ますますゴミ出しに支援が必要な方が増加していくことが考えられるが、ゴミ出し支援に関する副市長の考えは。

A ふれあい収集はゴミ出しが困難な方には必要な事業だと考えており、資源対策課と高齢介護課は今まで以上に連携を密にしていく必要がある。本市は、集積場所での収集が原則であるが、ふれあい収集を希望される方は年々増加している。今後ますます高齢化が進み、ゴミ出しが出来ない人が増えていくことも想定される。行政としての実施に限界があると感じているため、ふれあい収集事業や支援の方法を検討していく必要があると考える。



令和6年度施政方針 と当初予算編成に ついて

創生会
はっとり れみか
服部 礼美香 議員



Q 令和6年度の施政方針の中で、最も重要な施策は何か。また一番のポイントとなる部分に関しての見解は。

A 妊娠から教育期における切れ目のない支援を更に充実させることである。妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な相談支援を実施するため、中央子育て支援センター内に「こども家庭センター」を設置する。また、県内初の取り組みとして、障がい児や支援が必要な園児を市内の全保育園で受け入れる「インクルーシブ保育」を実施する。若い世代が「母になるなら稲沢市」「父になるな

ら稲沢市」と思えるようなまちを目指す。

Q 今後、人口減少や公共施設の老朽化における維持管理が財政運営に影響すると思われる。将来を見据えた歳入・歳出の考え方、持続可能な財政運営に関する見解は。

A 厳しい財政状況が続く見込みであるが、持続可能な財政運営のため、歳入では、市税の増収をはかること、国や県の補助金を獲得すること、交付税措置の高い起債を活用することが必要と考える。歳出においては、施設の統廃合を含めた事務事業の見直し、前例をただ踏襲するのではなく、今やるべきことはやるという考えのもと、事業の取捨選択、改善を絶えず意識して、職員が一丸となってこの難局、課題に取り組んでいきたい。





稲沢市図書館に ついて

公明党稲沢市議団
とちもと としこ
朽本 敏子 議員



Q 毎年実施している利用者満足度調査の結果を受けて、改善されたことはあるか。

A 中央図書館の休日に伴う振替休館日の一部削減や、開館時間を1時間拡大した。また、インターネットによる貸出延長などを行い、令和5年度にはスマートフォンに貸出券のバーコードを表示できる機能を追加した。

Q 今年は5年に一度のシステムと機器の更新年のため、例年より休館日が多かったが、通常、中央図書館は毎年1月に整理のための長期休館がある。入試シーズンにかからないように休

館の時期を変えられないか。また、少しでも休みを短くできないか。

A 蔵書点検は大学入学共通テスト終了後から開始するように時期を設定している。点検時期の変更については図書館イベント事業等の開催時期、近隣図書館の休館日など様々な条件を考慮、確認した上で検討する。点検期間は平成30年から1日短縮しているが、できる限り必要最小限の日程を考慮し実施していきたい。

Q 中央図書館は中間、期末試験の週末には席の取り合いとなるようだが、自習室を増設できないか。

A 図書館で自習利用を求める要望が強くあるため、その対応策として、グループ学習室を常時開放している。また、社会人専用など、利用者を制限する席以外のすべての閲覧席で自習を可能としている。



災害から 学ぶべきこと

市民クラブ
おかの つぎお
岡野 次男 議員



Q 災害時に移動型トイレ「トイレトレーラー」を自治体間で相互派遣するプロジェクトがある。けん引車で移動でき、トレーラー内に個室空間4室を備えている。本市も、自分たちを守り、困っている人を助けるために、本プロジェクトに参加してはいかがか。

A 能登半島地震の被災地にも本プロジェクト参加自治体より「トイレトレーラー」が派遣され、被災地でも好評であったとの報道もあったが、災害対応だけでなく、被災地支援においても有用であると考えている。車両の保管場所・方法、けん引免許所持職員の確保等の

課題もあるため、他自治体の事例も含めて研究していく。

Q 本市の現在の備蓄用飲料水はペットボトル容器で、保存期間は5年または7年だが、空気や紫外線を遮断し、水の減少や劣化を防ぐアルミボトル容器で、保存期間が12年の飲料水がある。更新作業の負担軽減にもなるため、長期保存が可能な飲料水へ切り替えてはいかがか。

A より長期保存可能な飲料水への切り替えについては、導入費用は増加するが、保存期間が延長されることにより、備蓄コストは低く抑えることが可能となるので、導入に向けて検討していく。



愛知県刈谷市の「トイレトレーラー」



閉じこもり傾向のある
高齢者へのフレイル
予防について

創生会
ひらの かよこ
平野 賀洋子 議員



Q 本市の65歳以上の高齢者数と高齢化率、閉じこもり傾向のある高齢者の割合は。

A 令和6年2月1日時点の本市の65歳以上人口は37,576人、高齢化率は28.14%。調査は行っておらず、割合は不明だが、第9期計画策定のために実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果では、閉じこもり傾向があることを要因として要介護状態になるリスクが発生している割合は、21.3%である。

Q 高齢者のIADL低下を予防するには、適切な栄養と適度な運動が必要であると言われて

いる。本市では、訪問型サービスにおいて栄養の指導は受けられるが、運動面の機能訓練は受けられない。他市の様に、理学療法士や作業療法士、柔道整復師に協力してもらい、訪問型短期集中予防サービス事業として、機能訓練等を実施してはどうか。

A 本市では、身体機能回復に関しては、通所型短期集中予防サービスとして、市内指定の接骨院において柔道整復師が機能訓練教室を実施している。今後は、ADL・IADLが低下している人への訪問型短期集中予防サービスについても検討していく。



※ADL:一般的に日常生活動作のことを指し、日常生活における基本的な「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」動作のことを指します。
IADL:手段的日常生活動作のことで、「掃除・料理・洗濯などの家事、買い物や外出、電話対応などのコミュニケーション、服薬管理、金銭管理」といったADLよりも複雑な動作のことを指します。



インクルーシブ保育
の推進について

創生会
すぎやま たいき
杉山 太希 議員



Q 今までの保育と令和6年度から推進するインクルーシブ保育の違いは何か。

A 今までの保育は、特別な配慮を必要とする子どもの「個」に対して加配が行われていたが、インクルーシブ保育は、「園」という環境に対して加配する制度である。発達に障がいがある子どもとそうでない子どもは明確に線引きできず、グレーゾーンと呼ばれる子、愛情面で問題を抱える子も増加している。子ども一人ひとりの強みを引き出し、社会参加できる大人を増やしていくことが重要であり、そのためにインクルーシブ保育を推進していきたい。

Q インクルーシブ保育の推進により、保育士の負担が増すのではないかと。また、保育士の質の向上も必要ではないかと。

A 支援が必要な児童も含め、担任保育士がクラス運営を行うが、フォローする保育士が必要な時に担任を支える体制を取る。そのため、担任が1人で抱え込むことがなくなり、保育士の負担は減ると考える。また、質の向上に関して、現在、子育て相談室「なのはな」のスタッフが、各園を巡回し、アドバイスを行っている。今後は、インクルーシブ保育の考え方の周知に努め、研修や担当者会議を行い、学びを深めていく。





学校徴収金の保護者負担を軽減することについて

日本共産党稲沢市議団
そがべ ひろたか
曾我部 博隆 議員



Q 「義務教育は無償」の原則どおり保護者負担はなくすべきと考えるが、各学校で学校徴収金を集めている。その使用目的は。

A 各校で副教材等の購入や学校行事などの費用について、保護者の負担を考慮し、計画的に徴収させていただいている。

Q 経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者に対して就学援助制度があるが、修学旅行代等はすべて対象で無償となっているか。

A 修学旅行等は本市の就学援助制度の対象となっているが、毎年、区分ごとの支給上限金

額を「国庫補助限度単価」に準じて設定しており、上限金額以上に費用がかかったものの負担はしていない。

Q 物価高騰の中で、保護者負担が増加している。限度額を超える分を市が独自に負担するべきと考える。また、PTA会費やクラブ活動費等の負担を本市でも就学援助の対象にすべきでは。

A PTA会費やクラブ活動費は、加入や参加が任意のため就学援助費の対象となっていない。しかし、来年度より導入される市立中学校の新制服について、市独自の取り組みを行う。令和6～8年度の3年間は、移行措置として新中学1年生の新制服の購入補助で準要保護者は支援額を1万円増額し、要保護者は1万円を支給することとしている。



職員の人材育成について

市民クラブ
ほしの しゅんじ
星野 俊次 議員



Q 令和5年3月に策定された職員人材育成基本方針の中で、ハラスメント対策の実施がある。ハラスメントについての取り組みは。

A 本市においても令和2年6月に「稲沢市職員ハラスメントの防止に関する指針」を策定し、留意すべき事項などの周知を行ってきた。具体的な取り組みとして、カスタマーハラスメント対策としては、令和6年度から名札の顔写真を取りやめ、フルネームから名字のみの記載に改めるよう進める。また、職員間のハラスメント対策としては、ハラスメントを未然に防止し、適切に対応できるよう、委員会等の

組織の編成を視野に入れた制度設計に努めていく。

Q 市民病院におけるハラスメントへの取組状況とパシエントハラスメントの対応は。

A 平成24年2月に「ハラスメントについての対策要領」を策定し、年1回の全職員を対象にしたハラスメント研修を実施している。また、ハラスメントの相談窓口を設置し、調査を行い、対応している。患者さんからのパシエントハラスメントについては、警察OBの保安指導員を主体に、マニュアルに基づき、警告や退去、警察署への通報等を行っている。一方、職員の倫理方針を定めており、職員は、患者さんの人格を尊重し、診療内容の丁寧な説明や患者さんの治療に対する意思を尊重するとともに、関係法令を遵守し、安心して診療を受けられるように努めている。



2月13日に開催された臨時会では、市長提出議案が1件提出され、全会一致で可決しました。議案の概要は次のとおりです。

議案第1号 令和5年度稲沢市一般会計補正予算(第8号)

…補正額 4億200万円

(これにより一般会計予算の総額は、522億12万円となりました)

住民税均等割のみ課税されている世帯に対する臨時特別支援事業(福祉課)

…3億2,070万円

- ・支給対象者：令和5年12月1日において、稲沢市の住民基本台帳に登録があり、令和5年度分の住民税均等割のみ課税である世帯の世帯主
- ・支給額：1世帯あたり10万円
- ・対象人数：3,000世帯

低所得の子育て世帯臨時特別支援事業(福祉課)

…8,130万円

- ・支給対象者：令和5年12月1日において、稲沢市の住民基本台帳に登録があり、令和5年度分の住民税非課税世帯または住民税均等割のみ課税である世帯で、18歳以下の児童のいる世帯の世帯主
- ・支給額：18歳以下の児童1人あたり5万円
- ・対象人数：1,500人

会議録と本会議の様子をご覧ください

稲沢市議会本会議の内容は、会議録として作成し、図書館や各市民センター内の図書室に配布し、皆さんに読んでいただけるようにしています。

また、会議録と本会議の録画映像は、市のホームページからパソコンやスマートフォンなどでご覧いただけます。

本会議の録画映像については、右の二次元コードを読み取り、ご覧いただくこともできます。



傍聴にお越しく下さい

本会議や委員会は、条例の制定や改廃、予算など市民の皆さんの生活に関連する事案が審議されており、市議会の活動や市政の方針を知ることができます。

- ◎会議当日、受付にて名前を記入していただきます。
- ◎本会議の傍聴の定員は50名、委員会の傍聴は先着順で3名程度です。
- ◎聴覚に障がいのある方が傍聴をする際には、手話通訳がご利用できます。
※7日前までに福祉課でお手続きをお願いいたします。
- ◎車いす利用者の方の議場における傍聴が可能です。
※ご利用の方は前日までに議会事務局にご連絡ください。



車いす用にスロープを設置します

令和5年度(下半期:10月~3月) 政務活動費収支報告

(単位:円)

| | 創生会 | 市民クラブ | 公明党稲沢市議団 | 共産党稲沢市議団 | 小柳彩子 | 平野泰弘 | 山田崇夫 |
|-------|-----------|---------|----------|----------|---------|---------|---------|
| 交付額 | 1,680,000 | 600,000 | 240,000 | 240,000 | 120,000 | 120,000 | 120,000 |
| 利息 | 4 | 1 | | | | | |
| 調査研究費 | 615,696 | 140,208 | 90,376 | | 11,586 | 11,586 | 10,466 |
| 研修費 | | | 62,350 | 70,610 | | | |
| 広報費 | 1,057,892 | 374,208 | | | 53,610 | | |
| 資料購入費 | | 30,910 | | 34,820 | | | |
| 支出合計 | 1,673,588 | 545,326 | 152,726 | 105,430 | 65,196 | 11,586 | 10,466 |
| 残額 | 6,416 | 54,675 | 87,274 | 134,570 | 54,804 | 108,414 | 109,534 |

※所属議員に対し、月額2万円を交付しています ※残額については、市へ返還しています

議員研修会を開催

2月27日にStand by Women代表濱田真里氏を講師に招き、「政治分野のハラスメントの防止に向けて」をテーマに議員研修会を開催しました。

今後とも市議会として、ハラスメントを起こさない環境・体制づくりに努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



表彰

2月2日に開催された愛知県市議会議長会定期総会において、出口勝実前議長、木全信明前副議長に感謝状が贈呈されました。



出口勝実前議長



木全信明前副議長

次回の定例会は

6月7日(金)開会

質疑・一般質問

- ・6月17日(月)
- ・6月18日(火)
- ・6月19日(水)
- ・6月20日(木) (予備日)

常任委員会

- ・6月21日(金) 総務委員会
- ・6月24日(月) 文教厚生委員会
- ・6月25日(火) 経済建設委員会

閉会

- ・6月28日(金)

※各日とも午前9時30分から開会します。日程の詳細は市議会ホームページに掲載しております。傍聴もできますので、お気軽にお越しください。(審議の妨げとならないように、携帯電話の電源を切り、お静かに傍聴していただきますようお願いいたします。) 日程は変更する場合がありますので、議会事務局までお問合せください。

次回の議会だよりは令和6年8月発行予定です。

発行/稲沢市議会
編集/広報広聴委員会
〒492-8269 稲沢市稲府町1
TEL 0587-32-1459 / FAX 0587-32-1124